

女性組合員の皆さまへ

全駐留軍労働組合「たすけあい共済制度」のご案内

締切日 **2023年3月31日(金)** 責任開始期(加入日) **2023年8月1日(火)**

※今回の中途募集で申込みをされた場合2023年8月1日から保障を開始し、初回は2023年7月の給与より控除いたします。

女性にとって「要注意の病気」

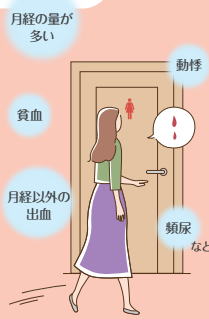
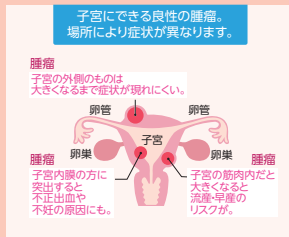
体からのSOSを見逃していると、手術や入院が必要な大きな病気になることも。若い女性に多くみられる病気について、確認しておきましょう。

子宮筋腫：経血量が多い、貧血気味…と感じる方は要注意!

子宮の筋肉のなかにできる良性的腫瘍(しゅりょう)。重症だと薬物治療や手術が必要で、継続的な治療が必要な場合も。大きくなった筋腫がぼうこうを圧迫すると頻尿を併い、**子宮の内膜や卵管を圧迫すると不妊の原因**になることもあります。

- ①手術:腹腔鏡下子宮筋腫摘出(核出)術
- ②入院:7日程度

自己負担額合計
健康保険適用後(3割負担) 約**30万円**
高額療養費制度適用後*1,2 約**8万7,430円**

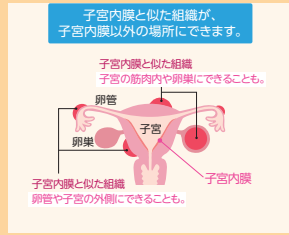


子宮内膜症：寝込んでしまうほど月経痛がキツイ、月経以外の時に下腹部が痛い…という方は要注意!

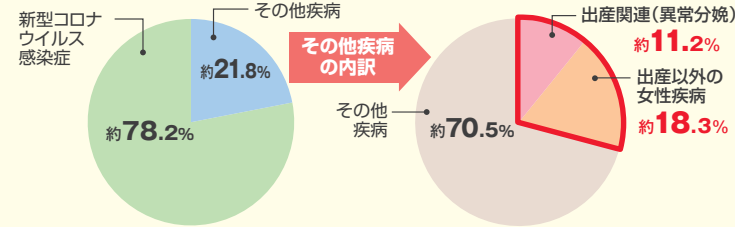
子宮内膜と似た組織が、卵管や卵巣などの子宮の内側以外にできる病気。その組織が月経の周期ではがれて体内に溜まり、炎症を起こしたり周囲の組織と癒着することで痛みを起こします。重症化すると不妊の原因にもなり、手術や入院が必要です。再発しやすいため継続的な治療が必要な場合も。

- ①手術:子宮付属器癒着剥離術(腹腔鏡)
- ②入院:7日程度

自己負担額合計
健康保険適用後(3割負担) 約**24万円**
高額療養費制度適用後*1,2 約**8万5,430円**



入院費用サポートコース近年のお支払い事由内訳(2020年2月~2022年11月)



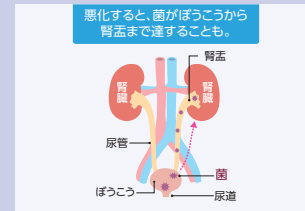
新型コロナウイルス感染症を除く疾病のお支払いのうち**約3割**が女性ならではの疾病・出産時の異常分娩にかかわるものでした。

ぼうこう炎・腎盂腎炎：トイレをガマンしがち…という方は要注意!

菌が尿道をさかのぼり、ぼうこうで増殖する病気。女性は膣と肛門が近く尿道が短いため、かかりやすいのが特徴です。菌が尿管を通過して腎盂にまで侵入して炎症を起こせば、腎盂腎炎に。ひどくなると発熱したり血尿が出たりして、入院による治療が必要になります。

- ①入院治療:補液と抗生剤の点滴静注
- ②入院:7日程度

自己負担額合計
健康保険適用後(3割負担) 約**9万円**
高額療養費制度適用後*1,2 約**8万430円**

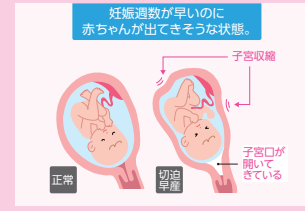


切迫早産：妊娠中期以降に出血がある、安静にしてもお腹に張りや痛みがある…という方は要注意!

妊娠22週~37週未満の時期に、子宮口が開いていたり早産しかかっている状態。破水が起こってしまうこともあります。早産で生まれた赤ちゃんは、脳や呼吸器系の合併症を起こす場合もあります。

- ①入院治療:子宮収縮抑制薬、安静加療
- ②入院:30日程度

自己負担額合計
健康保険適用後(3割負担) 約**38万円**
高額療養費制度適用後*1,2 約**9万130円**



※治療例と治療費は、あくまでも一例であり、個人により症状・治療内容が異なる等の理由から、実際のお金とは異なる場合があります。*1治療例は、公的医療保険制度における自己負担割合が3割の場合で、高額療養費制度適用後の金額(満70歳未満・標準報酬月額28~50万円)です。自己負担割合は、年齢や所得等によって異なります。*2高額療養費制度適用後の金額は、入院期間が同月中(月の初めから終わりまでの間)で終了した場合で算出。

[監修] 昭和大学病院 [2022年2月時点]

治療が長引くと経済的な負担は大きく、入院が続くと休業が必要なケースも…そんな時はどうしますか?

20~30歳代は、女性のライフステージにおいて一番充実した「成熟期」。この時期にホルモンバランスが崩れてしまうと、妊娠や出産、また更年期にも影響が出ることがあります。婦人科の病気の場合、だんだん症状が強くなっていくことが多いです。重症化すると入院することになり、医療費もかかります。気になる症状があれば、怖がらずに早めに受診してください。



[監修]
昭和大学医学部産婦人科学講座
講師 医学博士
白土 なほ子 先生

(治療例) ●子宮筋腫で、腹腔鏡下子宮筋腫摘出(核出)術を受けるため7日間入院した場合の治療費自己負担額(健康保険適用後、3割負担の場合)腹腔鏡下子宮筋腫摘出(核出)術+入院費=約300,000円[高額療養費制度適用後]手術費+入院費が100万円の場合の自己負担額約87,430円[80,100円+(1,000,000円-267,000円)×1%] ●子宮内膜症で、子宮付属器癒着剥離術(腹腔鏡)を受けるため7日間入院した場合の治療費自己負担額(健康保険適用後、3割負担の場合)子宮付属器癒着剥離術(腹腔鏡)+入院費=約240,000円[高額療養費制度適用後]手術費+入院費が80万円の場合の自己負担額約85,430円[80,100円+(800,000円-267,000円)×1%] ●腎盂腎炎で、7日間入院した場合の治療費自己負担額(健康保険適用後、3割負担の場合)入院費=約90,000円[高額療養費制度適用後]入院費が30万円の場合の自己負担額約80,430円[80,100円+(300,000円-267,000円)×1%] ●切迫早産で、30日間管理入院した場合の治療費自己負担額(健康保険適用後、3割負担の場合)入院費=約380,000円[高額療養費制度適用後]入院費が約127万円の場合の自己負担額約90,130円[80,100円+(1,270,000円-267,000円)×1%]
※別途診察料、再診料、血液検査、画像検査などの治療費および入院中の治療費以外の費用(食事代・差額ベッド代等)がかかります。
●この資料は医師の監修のもと、治療法の例を紹介したものであり、その治療法を推奨するものではありません。治療法や効果は個々の症状によって異なりますので、治療・診断にあたっては主治医にご相談ください。●公的医療保険制度に関する記載は2022年9月現在の制度に基づくものであり、将来変更される可能性があります。

たすけあい共済には女性組合員の皆さまだからこそおすすめしたい制度があります▶

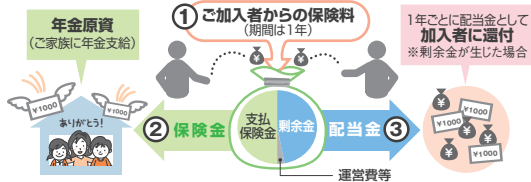
たすけあい共済制度5つのポイント

- 1 加入規模が大きくなるほど**保険料がお手頃!**
- 2 ご加入の際、**医師の診査は不要**です!
- 3 1年ごとに**加入・更新内容を確認**できます!
- 4 退職などで、組合員ではなくなった際も**継続可能!**
※退職後制度(定年退職及び55歳以上かつ勤続15年以上で退職された方が団体扱で継続できます。)
- 5 1年ごとに収支計算を行い、**剰余金が生じた場合は配当金として保険料を還付!**

どんなしくみのの?

営利を目的としない組合員のための助け合いの制度です。余ったお金は配当金として還付されるんだよ。

制度の仕組み ●組合員の相互扶助で成り立ちます。



※たすけあい共済「まもるくん」は1年ごとに収支計算を行ない、剰余金が生じた場合は配当金としてお返しする仕組みになっています。配当率は、お支払時期の前年度決算により決定しますので、将来お支払いする配当金額は現時点では確定していません。オプション共済については配当金はありません。

- ①組合員(加入者)がお互いに保険料を拠出して1つの基金を構成します。
- ②組合員(加入者)にご不幸(死亡・高度障害)があった時、拠出された保険料の中からご家族(高度障害の場合は本人)に年金を支給します。
- ③1年ごとに全体の収支計算を行い剰余金が生じた場合は配当金として還付します。

2021年度
たすけあい共済「まもるくん」
お支払実績
14件 6,700万円
(2021年2月1日～2022年1月31日)

直近2年間
配当率
2021年度 **約44.3%**
2020年度 **約28.2%**

詳細はパンフレットをご参照ください。

パンフレットはスマートフォンやPCから見られるようになっているので記載の方法で確認してね。

STEP 1 記載のコードやURLからアクセスしてください

STEP 2 団体共通IDをログイン



オススメのご加入パターン

たすけあい共済「まもるくん」 死亡・高度障害時の生活費をカバーします

加入必須

●保険料 本人

エントリープラン		お手頃にご加入いただけるプランです。						
保険年齢	おすすめコース	受取期間	年金月額平均	障害初期給付金(障害年金1級・2級のとき)	受取総額	年金原資(死亡・高度障害・障害保険金)	月額保険料	配当概算保険料*
							女性	女性
18～35歳	C	12年	約4.3万円	60.0万円	約629万円	600万円	390円	218円
36～40歳	C	12	4.3	60.0	629	600	624	348
41～45歳	C	10	5.1	60.0	622	600	726	405
46～50歳	C	8	6.4	60.0	615	600	1,020	568
51～55歳	D	4	6.2	30.0	301	300	714	398
56～60歳	E	3	5.5	20.0	200	200	632	352

●記載の年金額はパンフレット作成時点の明治安田生命の基礎率(予定利率、予定死亡率、予定事業費率等)で計算しています。実際の年金額は年金基金設定時に引受会社が定める基礎率および引受金額により決定しますので、記載の額を下回る可能性もあります。

●年齢は**保険年齢**です。

●表記の保険料は正規保険料です。

●この制度は年齢により保険金額が自動的に増減することがあります。

●障害保険金、障害初期給付金は64歳までの本人のみが保障の対象となります。死亡保険金、高度障害保険金、障害保険金は重複して支払われません。障害初期給付金のお支払いは1回限りです。●高度障害保険金をお支払いし、脱退となった後に公的障害年金の受給権を取得しても障害初期給付金は支払われません。

※【参考】2021年度配当を加味した保険料
たすけあい共済「まもるくん」は1年ごとに収支計算を行い、剰余金が生じた場合は配当金としてお支払いする仕組みとなっています。配当率は今後変動することがありますので、記載の配当金額(配当率)は、将来のお支払いを約束するものではありません。配当率は、お支払時期の前年度決算により決定しますので、お支払いする配当金額は現時点では確定していません。

入院費用サポートコース 病気やケガの入院費用を補償します。女性疾病について上乗せ給付するオプションもあります。

●保険料 本人・配偶者・子ども

(保険期間:1年)

保険年齢	オプションなし 男女共通		オプションあり 女性のみ	
	Zコース	Z1コース	Z1コース	Z1コース
18～20歳(2002.8.2～2005.8.1)	260	円	550	円
21～25歳(1997.8.2～2002.8.1)	410		740	
26～30歳(1992.8.2～1997.8.1)	500		970	
31～35歳(1987.8.2～1992.8.1)	460		870	
36～40歳(1982.8.2～1987.8.1)	430		870	
41～45歳(1977.8.2～1982.8.1)	470		1,010	
46～50歳(1972.8.2～1977.8.1)	570		1,240	
51～55歳(1967.8.2～1972.8.1)	710		1,480	
56～60歳(1962.8.2～1967.8.1)	900		1,770	

Zコース
○病気やケガにより入院した場合、1回の入院につき初期費用として2万円をお支払いします。また入院支援として1月(注1)につき1.5万円をお支払いします。
○日帰り入院(注2)も対象となります。

(注1)入院日数30日ごとに1月として計算し、30日未満の曜日数については切り上げて1月とします。
(注2)日帰り入院とは入院日と退院日が同一の入院で、かつ入院料が算定された入院をいいます。病院による入院の証明もどきをお支払いします(外来での治療は日帰り入院に該当しません)。

オプション Z1コース(女性疾病給付金つき)
女性疾病により入院・手術をした場合に保険金をお支払いします。

女性疾病で入院したとき <女性疾病入院保険金>	女性疾病で所定の手術を受けたとき <女性疾病手術保険金>	女性が特定障害で所定の形成障害を受けたとき <女性疾病手術保険金>
日額5,000円×入院日数 (1入院につき365日限度、通算700日限度)	手術の種類に応じて 5万円・10万円・20万円	手術の種類に応じて 10万円・20万円

※女性疾病給付金をセットした場合、Z1コースとなります。
※女性疾病給付金のみの加入はできません。Zコースにセットしてのご加入となります。

プラス

- 記載の年齢は保険年齢で、満年齢とは異なります。該当する年齢区分は生年月日でご確認ください。加入できる年齢範囲はパンフレットをご確認ください。
- 保険料は年齢により被保険者ごとに異なります。更新時に該当する年齢区分が変わる場合、保険料は前年度と変わります。

長期休職所得サポートコース 病気やケガで連続して90日を超えて休職をした際に長期療養時の所得を補償します

●保険料 本人

(保険期間:1年)

保険年齢	女性							
	5万円(5コース)	10万円(10コース)	15万円(15コース)	20万円(20コース)				
17～24歳(1998.2.2～2005.8.1)	280	円	560	円	840	円	1,120	円
25～29歳(1993.2.2～1998.2.1)	364		728		1,092		1,456	
30～34歳(1988.2.2～1993.2.1)	485		970		1,455		1,940	
35～39歳(1983.2.2～1988.2.1)	715		1,430		2,146		2,861	
40～44歳(1978.2.2～1983.2.1)	1,105		2,210		3,315		4,420	
45～49歳(1973.2.2～1978.2.1)	1,498		2,996		4,495		5,993	
50～54歳(1968.2.2～1973.2.1)	1,609		3,219		4,828		6,437	

- 記載の年齢は満年齢です。該当する年齢区分は生年月日でご確認ください。加入できる年齢範囲はパンフレットをご確認ください。
- 保険料は年齢・性別により被保険者ごとに異なります。更新時に該当する年齢区分が変わる場合、保険料は前年度と変わります。
- 保険金月額は、被保険者の平均月間所得額を超えないようにご加入ください。